

課題番号：デブリ-208

課題名	廃炉プロセス「燃料デブリ取り出し」 検討対象「止める/冷やす/水素（安定状態の維持）」 課題「安定状態維持のための燃料の状況把握」		時間軸情報	汚染水対策				
	使用済燃料プールからの燃料取り出し							
燃料デブリ取り出し					1			
PCV/RPV/建屋の解体								
輸送・保管・貯蔵								
処理・処分・環境回復								
段階	Design							
ニーズ	望ましい状態とその理由		(参考) 関連する研究課題					
1	切り株燃料の性状（各工程での状態予測等含む）を把握したい。	●燃料デブリ取り出しを安全に実施するために、事故時に溶融していない破損燃料（切り株燃料）の状況把握を行い、特に再臨界の観点から安全評価を行うことが望まれる。	【実施されている研究課題】					
			廃炉・汚染水対策事業「原子炉圧力容器内部調査技術の開発（調査計画・開発計画の策定、工法計画の立案、調査用付帯システムの検討、アクセス装置・調査装置の開発）」 廃炉・汚染水対策事業「燃料デブリ臨界管理技術の開発（工法・システムの安全確保に関する最適化検討）」					
			【検討されている研究課題】					
			特になし。					
関連する課題	デブリ-207「臨界管理」 デブリ-209「冷却機能の維持」 デブリ-210「水素発生挙動の把握」 デブリ-211「PCV・建屋の構造健全性確保」 デブリ-302「RPV内燃料デブリ取り出し」							